

横浜市新型コロナウイルス対策本部会議 議事要旨	
日 時	令和2年6月12日（金）15時00分～15時50分
開催場所	市庁舎10階 危機管理センター本部会議室
出席者	<p>【正副本部長】市長、平原副市長、小林副市長、城副市長、林副市長、危機管理監</p> <p>【本部員：局】温暖化対策統括本部長、政策局長、総務局長、財政局長、国際局長、市民局長、文化観光局長、経済局長、こども青少年局副局長、健康福祉局長、医療局長、病院経営本部長、環境創造局長、資源循環局副局長、建築局長、都市整備局副局長、道路局長、港湾局長、消防局副局長、会計室長、水道局長、交通局長、教育長、選挙管理委員会事務局長、人事委員会事務局長、監査事務局長、議会局長</p> <p>【区】鶴見区長、南区長、瀬谷区副区長</p> <p>【本部員：その他】危機管理室長、政策局政策調整担当理事、保健所長</p>
開催形態	マスコミ公開
議 事	<p>開 会</p> <p>1 市内の状況について（報告）</p> <p>(1) 感染発生の状況 資料1に沿って説明【健康福祉局長】</p> <p>(2) 市内経済の状況 資料2に沿って説明【経済局長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街等活動支援事業一時金について、どういったことに活用されるのか。活用状況をまとめ、報告してほしい。【林本部長】 <p>(3) 市内観光の状況 資料3に沿って説明【文化観光局長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パシフィコ横浜、横浜アリーナは、2月以降、約200件の催事が延期・中止となっており、12月の催事もキャンセルが出始めている。 <p>2 市立学校等の対応について 資料4に沿って説明【教育長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業が短縮されることにより、熱中症や健康面は心配されるが、冷房の活用や屋外授業を減らす等対策を練っていく。 ・短縮授業ということもあり、ほとんどの生徒が出席しており、例年よりもむしろ出席率は高い。感染を心配し、欠席させている家庭も若干ある。 <p>3 暮らし・経済対策について（報告） 資料5（これまでの経過、6月補正の3つの柱）に沿って説明【林本部長】 資料5（上記以外）に沿って説明【暮らし・経済対策チーム長(政策局長)】</p> <p>4 その他（情報共有） 【鶴見区長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別定額給付金に関するご相談が多い。 ・8月の夏祭り、9月の敬老会、10月の運動会等の地域行事は、中止又は延期の方向と聞いている。

	<p>【南区長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別定額給付金に関しては、案内ブースを設けるとともに、警備員を配置している。 ・今週初めは約 200 人の相談を受けていたが、現在は約 100 人前後で推移している。 ・書類の書き方の相談が多く、外国籍の方も来庁される。 <p>【瀬谷区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別定額給付金に関する相談は、多いときは 70 人、少ない時でも 30 人くらいの方が来庁される。 ・高齢者の方のご相談が多い。 <p>5 本部長指示 別紙のとおり</p> <p>閉 会</p>
<p>資 料</p> <p>・</p> <p>特記事項</p>	<p>1 資 料</p> <p>資料 1：市内の状況について（感染発生の状況）【健康福祉局】</p> <p>資料 2：市内の状況について（市内経済の状況）【経済局】</p> <p>資料 3：市内の状況について（市内観光の状況）【文化観光局】</p> <p>資料 4：市立学校等の対応について【教育委員会】</p> <p>資料 5：暮らし・経済対策について【暮らし・経済対策チーム】</p> <p>2 特記事項 なし</p>

新型コロナウイルス感染症については、いよいよ、経済の再生と感染症対策の強化を両輪で回していく時期に来たと考えています。

神奈川県内では、新規陽性患者数は非常に低く抑えられています。一方、東京では、昨日、アラートが解除されたものの、感染の再拡大の傾向が見られました。小池都知事もご苦労されていらっしゃると思いますが、東京圏は一体ですので、県内にも感染の第二波がいつ来るか、油断できない状況です。一都三県、指定都市で協力して取り組んでいきます。

また、重症・中等症患者を受け入れるため、緊急的に確保した 500 床の病床は、余裕をもって運用できており、医療体制は十分に整っています。今後は、一般診療の受入を拡大していきますが、感染者が再度増えた場合には、すぐに、現状と同等の受入体制に切り替えてまいります。

市内経済の状況について、景況動向やホテルの稼働率、大規模イベントの中止・延期など、非常に厳しい数字が報告されました。困難な状況ではありますが、何としても経済を回復させていかなければなりません。暮らし・経済の回復に向け、あらゆる分野において、しっかりと取り組んでいく必要があります。

そのために、今年度第二次となる、総額 187 億円の補正予算案を編成しました。今まさにお困りでいらっしゃる皆様へ、タイムリーに、きめ細やかに対応していくための対策となっています。

各本部員は、できる限り早く支援をお届けできるよう、一致団結して取り組んでください。また、今回の補正予算が有効に活かされるよう、各方面と十分にコミュニケーションを取り、効率的・効果的に事業を進めてください。

出水期を迎え、風水害への備えも重要です。地震やインフルエンザなどの感染症、その他の災害も、いつ起こるか分かりません。現在のコロナ禍の状況において、複合災害へもしっかりと備えるよう、お願いします。